

令和6年度 久々野中学校 学校経営の全体構想

相手意識をもち考え 殻を破り一步を踏み出す（＝育てたい資質・能力）生徒の育成

「人間的な喜び」を積み重ね「夢を培う」学校 ～ 達成感・貢献感 ～

故郷久々野町の平和と未来について提案をする「SDGs ドリームプラン」

- ◎学びとともに地域に目を向け関心をもつ生徒 ◎地域の課題を理解し地域に関わろうとする生徒
- ★地域を知り、関わり、考えることで、夢を培い、**久々野町の未来を創造する**（ドリームプラン）の推進
・故郷の持続可能な未来を考え、発信 ⇒ **よりよい未来の実現に挑み続ける人材の育成を図る**
- ★久々野保小中学校運営協議会との協働 ★保小中の12年間の育みを地域とともに推進
- 《評価の指標》 ◇社会や地域に関心がある 100% ← 91%（R5年度末）
◇社会や地域をよくしようと考えることがある 90% ← 75%（R5年度末）

- ◎共に学び合い、意見交換を通して、自分の見方や考え方を広げる生徒
◎相手意識をもち、自分なりの言葉や方法で工夫して表現する生徒
◎知識・技能を駆使して発信し、学びを深める生徒（**つけたたい力を軸として教科横断的に育成**）
- ★特別支援教育の推進（インクルーシブ教育）
・互いのよさや可能性を発揮できる授業
★主体的・対話的で深い学びを視点とした授業改善
・主体的な学びを築く導入の工夫
・対話的な学びの礎となる一人学びの工夫（**複線化**）
・**教え合いから学び合いへ、仲間学びの進化**
- 《評価の指標》 ※（← %はR5年度末の数字）
◇進んで授業に向かう 100% ← 95%
◇仲間と学ぶ合うことで自分の考えが広がり深まったという実感 100% ← 96%
◇授業で分かった、できたという実感 100% ← 100%

ICTを活用した教育活動の推進

仲間と学ぶ協同学習

- ◎生活の基礎・基本を身に付け、思考・判断してたくましく行動する生徒
◎誰とでもよさや課題を伝え、仲間と協働し高め合える生徒（**意見の対立を恐れない強さ**）
◎仲間の願いを知り、その実現に向けて互いに支え合える生徒（**心の底にある思いを聞き取る**）
- ★特別支援教育の推進（インクルーシブ教育）
・メタ認知と他者理解：SST等の推進
★ドリームプランを核としたふるさと魅力発信！
・平和学習を通じた平和な故郷実現プラン
・キャリア教育を核としたなりたいたい自分の実現
・持続可能なふるさと魅力発掘&発信プログラム
★生活リズムの改善（PTAと連携）**P D C A実施**
- 《評価の指標》 ※（← %はR5年度末の数字）
◇規律ある生活 90% ← 86%
◇相手意識をもった生活や活動 100% ← 100%
◇なりたいたい自分に向けた努力 100% ← 95%

仲間を学ぶ協働実践

〈指導の構え〉 キーワード “**殻を破る**” “**相手意識**” **心を贈り続ける指導**
子どもたちの願いを共有し、意義づけ（思考）、見届け（判断）、価値づけ（喜び・自己肯定感）することで、相手意識をもち考え、殻を破り一步を踏み出すことのできる生徒を育成する。

★**個々の生徒が殻を破ることができるよう、心を贈り続ける教師集団をめざす！**

【学習面】 ○：よさ ◇：課題

- 与えられた課題に意欲的に向かう姿勢
○少人数での意見交換の場での表現力の高さや他者の意見に反応しながら学び合う姿勢
◇大人数の前での表現力 ◇自ら何かを生み出す力

【生活面】 ○：よさ ◇：課題

- 自分の可能性を信じ、思ったことを行動に移す生徒の増加
○挑戦する仲間への温かいまなざし
◇生活リズムの調整力 ◇意見交換による高め合い

高山市の教育の方針と重点及び学校教育目標等から見た生徒のよさと課題

＜学校の教育目標＞ 心豊かでたくましい生徒 ○自学 ○協調 ○健康

＜高山市の方針と重点＞ 郷土高山に根ざした心に残る教育を創造する

【方針】 郷土高山に根ざし、未来を切り拓くための資質・能力を育む

【教育の重点】 挑戦し続けるたくましさの育成

【キーワード】 個と向き合う

- ◎深い学びの実感（授業 Power Up Project）
◎安心できる居場所づくり（学びの多様化教室「にじ色」スタート）
◎「なりたいたい自分」の実現 見通し → 行動 → 振り返り → 見通し

＜学校運営協議会＞

- 学校運営・その運営に必要な支援に関する協議
○学校と地域が組織的に連携・協働する窓口
～願う久々野の子～
地域や人を大切にする
たくましさのある子